

地方銀行で活躍する理系人材

総合企画室 副調査役 若井 菜々子

要 旨

- 近年、地方銀行では、理系人材の活躍が目立っています。
- 本稿では、実際に理系学部出身の地方銀行員を取材し、なぜ地方銀行へ就職したのかや、地方銀行でどのように理系知識・経験が活かしているかについて話を伺いました。
- あわせて、銀行自身の理系人材活躍に向けた取り組みについてもご紹介しています。

はじめに

「銀行は文系学部出身者の就職先」—そんなイメージをお持ちの方が少なくないでしょう。実際、文部科学省の「学校教育調査」をみても、金融業の新卒採用者に占める理系学部出身者の割合は、ここ10年、概ね5%弱¹で推移しています。

一方で、ここ十数年で地方銀行を取り巻く環境は大きく変化しました。長年の低金利環境により、従来からの「預金を集めて貸し出し、その金利によって収益を得る」ビジネスモデルは見直さざるを得なくなりました。また、高齢化の進展や、デジタル化、SDGs・ESGといった様々な社会的関心の高まりにより、お客様のニーズも多様化しています。

お客様のニーズが多様化する中、地方銀行において

も、人材の多様化に取り組んでおり、理系人材の活躍に力を入れています。銀行で理系人材といえば、一般的にイメージされやすいのが、システムの開発・保守といった場面かと思いますが、それ以外にも、ファイナンスやデータ分析等、様々な場面で、理系学部出身の方が多く活躍しています。

今回は、そのような、理系学部出身の現役地方銀行員を取材し、なぜ地方銀行へ就職したのかや、地方銀行でどのように理系知識・経験を活かしているかなどについて話を伺いました。また、それぞれの銀行における、理系人材が活躍するための取り組みについてもご紹介いたします。

理学部 → 七十七銀行 ～“理系的アプローチ”で複雑な契約を整理～

宮城県に本店を置く**七十七銀行**の行員・郡司篤知（ぐんじ あつとも）さんは、大学時代、理学部で数学を専攻していました。就職活動当時、世の中に直接役に立つような仕事がしたい考えた郡司さんは、その中でも、企業の経営状況を数字の面から分析する金融機関であれば、自身が学んできた数学的知識を活かせると考えました。また、就職活動中、自分と同じ理学部から地方銀行へ就職し、活躍している行員の姿をみたことや、学生時代に仙台で東日本大震災を経験し、東北復興に貢献したいと思うようになったことから、地方銀行への就職を決めたとのこと。

郡司さんは、入行して最初の7年間、営業店で法人融資を中心に様々な営業店業務を経験してきました。その中で、近年、銀行が非金融面のサービスを充実させてきているとはいえ、やはり銀行としてお客さまに提供できる支援の根幹はファイナンスであり、そのファイナンスをつきつめていきたいとの想いを持つようになりました。2つの営業店勤務を経験後、行内公募に手を上げてメガバンクに出向し、そこでLBOや不動産ファイナンス、シンジケートローン業務について学びました。

2021年に七十七銀行に戻り、出向先での経験を活かしながら、現在、コンサルティング営業部ストラクチャー・ファイナンス課で、コーポレート向けのシンジケートローンの組成を担当しています。シンジケートローンは、「シンジケート団」を結成した複数の金融機関から、一つの契約・同一の契約条件で、お金を借りること



ができるローンのことです。シンジケート団の代表である「アレンジャー」と呼ばれる銀行が、契約を取りまとめるため、借り手はアレンジャーとの交渉のみで複数の金融機関から多額の融資を受けることができます。郡司さんは、このシンジケートローンの組成担当として、ニーズの発掘から、各関係者との交渉、契約書の作成、調印を行っています。この業務では、借り手であるお客様や参加金融機関のみでなく、各銀行の担当営業店や審査部署、さらには弁護士など、立場の異なる多数の関係者と話し合いながら契約を決めていくことになります。さらに、様々な要素や情報、意見が複雑に入り組んでいるため、その調整は、どこから手を付けてよいか苦労することが多いと言います。そんなとき、大学時代に培った、根気強く情報をかみ砕いて細分化し、整理する“理系的アプローチ”が活きていると言います。



▲ 本ページの写真はすべて七十七銀行提供。

七十七銀行の取り組み ～一人ひとりに合ったキャリアアップを実現～

【(図表1) 特設サイトトップ】

▲ 七十七銀行採用サイト内特設ページ (<https://www.77bank.co.jp/job/new/business/rikei/>) より。

七十七銀行は、自行の採用情報サイト内に、特設ページ「77×理系」を設置し、行内の理系人材へのインタビュー記事や、銀行自身のデジタルトランスフォーメーション（DX）の取り組み、理系人材活躍のフィールド等について紹介しています。近年、地方銀行が、非金融分野へとサービスを多様化させていく中で、「これまでの枠にとらわれない新たな考え方や発想」を持った人材の力が必要との考えから、理系人材の獲得を強化しています。

特設ページの設置の他にも、デジタル分野の教育に特化した大学の学生へ積極的にアプローチしており、また、2024年度の新卒採用からは、ダイレクト・リクルーティング²も開始する予定です。さらに、入行後のミスマッチに起因する退職を防ぐため、内定後、入行までの期間に、専門部署で活躍する理系学部出身の行員との面談の機会を設けることで、銀行で働くことのイメージをより具体的に描いてもらえるようにしています。また、これまで、銀行と言えば、営業店配属からスタートし、その後さまざまな業務・部署を経験して、将来的に“ジェネラリスト”を目指すキャリアが一般的でしたが、同行は、理系の専門知識を持った行員が自身の強みを活かして専門的な業務を極め、“スペシャリスト”を目指すことも可能としています。

今後、ますます地方銀行の事業領域が広がっていき、

今まで以上に商品・サービスも多角化することが予想される中で、地方銀行には、多種多様な人材が活躍できるフィールドがある、と同行の採用担当者は話します。今後、今よりもさらに、理系人材に限らず様々な人材が、一人ひとりに合ったキャリアを積んでいけるような環境を整えていきたいとのことでした。

【(図表2) 特設サイト内のコンテンツ例】

▲ 七十七銀行採用サイト内特設ページ (<https://www.77bank.co.jp/job/new/business/rikei/>) より。



大学時代、国際開発工学部で都市気象学を専攻していた寝占祐太（ねじめ ゆうた）さんも、地方銀行で活躍する理系人材の1人です。大学時代は東京で過ごしたものの、大好きな地元で働きたいという思いが強く、その中でも地元のことを第一に考え、様々な形で活性化に寄与できるのが地方銀行であると感じ、地元・熊本県に本店を置く**肥後銀行**に入行を決めました。入行してから3年間は、営業店で勤務した後、メガバンクに出向となり、AIを活用した新規事業の開発に携わりました。この時培ったAIの知識やノウハウを活かしながら、現在は、デジタルマーケティング部において、データ分析・活用に関する業務を行っています。

現在、寝占さんが開発しているのは、“取引見込先モデ

ル”です。銀行には、過去、お客さまが自行とどのようなお取引をしたかに加え、いつ・どこに振り込みをしているかなどのたくさんのデータが蓄積されています。ここから関連性を探し出し、「今、マイカーローンが必要としているのはこの方々だろう」といったお客さまニーズを予測しようというのが、この取引見込先モデルです。銀行が持つ大量のデータは、ビジネスの大きな武器になり得るものですが、どのデータに関連性があり、それをどのように活用できるかを導き出すことは容易ではありません。寝占さんは、大学時代に取り組んでいた、気象庁の膨大な観測データを分析し、結果を見出ししていく研究の経験を活かしながら、日々、データと向き合っています。

寝占さんは将来的に、デジタルマーケティングの高度化や推進を目標としており、まずは目下取り組んでいる取引見込先モデルを精緻化し、ニーズ調査対象を全商品に広げていきつつ、それぞれのお客さまに合った商品・サービスの提案をサポートできるようなモデルの構築を目指しているそうです。寝占さん曰く、「入行当初、銀行は文系の職場だと思っていましたが、実は地方銀行はデータや最新技術を積極的に活用しようと日々取り組んでいるのだと気付きました。これまで活用しきれていなかった銀行のビッグデータにはたくさんの『宝』が眠っています。これを探り当てるところに、理系的な面白さがあると思います。」とのことでした。



肥後銀行の取り組み ～理系知識を活かせる専門職コースの設置～

肥後銀行では、2023年度の新卒採用から、これまで地方銀行で一般的だった「総合職」での採用とは別に、「専門職デジタルコース」と「専門職マーケットコース」を新設しています。これまで、総合職採用では、入行してまずは営業店に配属となり、窓口業務や渉外業務からキャリアを積み上げていくことが基本とされてきましたが、理系人材の「自らの専門分野を活かして働きた

い」という想いと mismatches が生じてしまう課題がありました。そこで、初めからそれぞれの専門分野を活かせる部署に配属となり、その分野で長期間キャリアを積んでいける専門職コースを設置することとしました。今年度は、新卒採用者81名のうち、3名を専門職デジタルコースで採用しています。

【(図表3) 肥後銀行の募集コース】

募集コース① 総合職エリアフリーコース

銀行業務全般、企画・判断業務で金融のプロとしての実力発揮が期待されるコース。遠隔地への転勤有り。

募集コース③ 専門職デジタルコース

AI、ブロックチェーン等のデジタル技術を活用した金融サービスの提供やDX関連業務にかかる企画・開発・運用・推進等を担当するコース。

募集コース② 総合職エリア限定コース

銀行業務全般、企画・判断業務で金融のプロとしての実力発揮が期待されるコース。転居を伴う異動無し。

募集コース④ 専門職マーケットコース

高度な数学的手法の利用や数理モデル構築により、市場動向や企業業績の分析・予測、投資戦略や金融商品の開発・評価等への専門的活躍が期待されるコース。

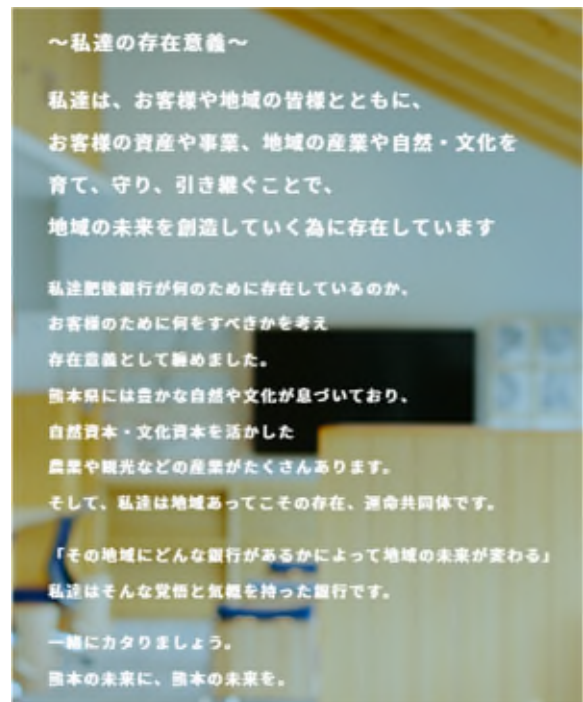
▲ 肥後銀行募集要項 (<https://recruit.higobank.co.jp/index.php/recruit>) より。

また、同行は、近年、キャリア採用にも力を入れており、銀行業界からのみでなく、IT企業等の他業種からも、専門知識を持った人材を積極的に採用しています。さらに、「キャリアチャレンジ制度」を導入し、行員自らが挑戦したい業務に手を上げることができるようにするなど、行内の制度も整えており、実際に2年目から本部の専門部署で活躍している若手行員もいます。

このように、理系人材の採用を強化する背景には、地方銀行として地域の未来を創造していくために、新しいことにどんどんチャレンジしていきたいという同行の想いがあります。そのためには、行内にはない新たな知見を持った人材が必要不可欠で、そのひとつが理系人材だと言えます。ただ、一口に“理系”と言っても、その内容は様々で、中には地方銀行の業務となかなか結び付かない学生もいるでしょう。しかし、地方銀行は、幅広い業種のお客さまとお取引があり、理系分野のビジネスをしているお客さまもいらっしゃいます。例えば、熊本県では半導体関連の企業が多く、そういった企業の課題を解決するためには、理系の知識を持っていることが強みになります。その意味でも、地方銀行における理系人材の活

躍の場はとて幅広く、いろいろなことにチャレンジできる職場であると、同行採用担当者は話していました。

【(図表4) 肥後銀行「私達の存在意義」】



▲ 肥後銀行採用サイト (<https://recruit.higobank.co.jp/>) より。

おわりに

地方銀行に求められる役割が多様化する中、今回ご紹介したように、幅広いフィールドで理系学部出身者が自らの知識・経験を活かし働いています。もちろん、ご紹介している方は一例であり、地方銀行にはまだまだ活躍のフィールドがたくさんあります。また、そのフィールドは今後、どんどん広がっていくことが予測され、それにあわせ、銀行自身も、理系人材が自らの知識・経験を最大限に活かせるよう、職場環境や人事制度等の整備に取り組んでいるところです。

なお、当協会ウェブサイトでも、今回レポートで紹介した方以外の理系学部出身の方を含む「先輩職員からの声」を掲載しています。地方銀行への就職にご興味のある方はぜひこちらをご覧ください（https://www.chiginkyo.or.jp/regional_banks/recruit/）。

¹ 文部科学省「学校基本調査」（https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/chousa01/kihon/1267995.htm）における「高等教育機関」の「卒業後の状況調査」のうち、大学卒業者の「産業別就職者数」を用い当協会で算出。「理学」、「工学」、「農学」を“理系学部”と定義し、「金融業」に就職した者の全体のうち、理系学部出身者が占める割合。

² 就職活動者に対し、企業から直接アプローチして採用活動を行う手法。

～地方銀行に就職をお考えの皆様～ 「地銀協グループ保険制度」等のご案内

何かと先行き不透明な時代だからこそ、万が一の際も安心して働き続けられる職場環境の整備が求められています。

こうしたニーズに応えるため、当協会は、会員銀行とその関連会社で働く役職員・ご家族に安心をお届けするための福利厚生制度として、「地銀協グループ保険制度」を運営しております。

本制度は、加入者である会員地方銀行等の役職員等

が万一、死亡または高度障害などに該当した場合に、生命保険会社からご遺族に保険金等をお支払いするので、地方銀行が集まって大規模な制度とすることにより、安価な保険料と高い配当還元率を実現しています。

このほか、病気・けが等に備える医療保障保険制度等の運営も行っております。地方銀行にご就職の際は、ぜひご加入をご検討ください。

充実した保障ラインナップ！

ご家族のために

✓ グループ保険制度

万一のことがあった場合に、ご遺族等に死亡・高度障害保険金をお支払いする最もベーシックな保険です。会員銀行の役職員の約4割の方が加入しています。

✓ 医療保障保険制度、医療費支援制度

病気・けがによる入院を保障する保険です。両制度にセットで加入することで、入院日額保障に加え、短期入院・外来手術等、多様なリスクに備えられます。

ご自身のために

✓ 三大疾病保険制度

三大疾病（がん、急性心筋梗塞、脳卒中）と診断され所定の状態となった場合に、ご自身に保険金をお支払いする生前給付型の保険です。

✓ 長期療養収入補償（GLTD）制度

就業障害が継続した場合に保険金が支払われる、収入補填型の保険です。けがや疾病のほか、うつ病など精神疾患による長期療養もカバーします。

注）地方銀行によって、導入している制度は異なります。